

しが「読み解く力」～実践編～ 【中学校 国語科】



しが「読み解く力」～実践編～ 【中学校 国語科】

- 1 単元目標
- 2 単元計画
- 3 本時の目標
- 4 本時の流れ
- 5 本時において、特に「読み解く力」を高め、
発揮している児童生徒の姿
- 6 授業づくりのポイント
- 7 まとめ



【中学校：国語科】

「主体的・対話的で深い学び」の実現につながる
「読み解く力」の視点を踏まえた授業づくりのポイント

◇ 「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の領域の指導事項を指導する際、**言語活動**（文章を読み、考えたことを記録したり伝え合ったりする活動）**を適切に設定しているか。**



1 単元目標

2 単元計画

3 本時の目標

4 本時の流れ

5 本時において、特に「読み解く力」を高め、 発揮している児童生徒の姿

6 授業づくりのポイント

7 まとめ

「大人になれなかった弟たちに……」

光村図書 1年生



【単元名】

「イチオシの心に迫る描写」を伝えよう。

【単元目標】

文章の構成や展開、表現の工夫や効果について、自分の考えをもつことができる。（読むこと エ）

【中学校学習指導要領（平成29年3月告示）】

文章の構成や展開、表現の工夫や効果について、根拠を明確にして考えること（読むこと エ）



- 1 単元目標
- 2 単元計画
- 3 本時の目標
- 4 本時の流れ
- 5 本時において、特に「読み解く力」を高め、
発揮している児童生徒の姿
- 6 授業づくりのポイント
- 7 まとめ



- 第1時：学習への目的意識、見通しをもつ
- 第2時：課題解決に向けて、必要な知識を学ぶ
- 第3時：課題解決に向け、みんなで学ぶ
- 第4時：前回の学びを活用し、確かにする
- 第5時：交流を通して、考えを再構成する
- 第6時：考えを発表する



- 第1時：学習への**目的意識**、**見通し**をもつ
- 第2時：課題解決に向けて、**必要な知識**を学ぶ
- 第3時：課題解決に向け、**みんな**で学ぶ
- 第4時：前回の**学び**を**活用**し、**確か**にする
- 第5時：交流を通して、**考え**を**再構成**する
- 第6時：**考え**を**発表**する

学習の流れ



- 第1時：初発の感想で、「心に迫る描写」とその理由を書く。
- 第2時：描写の効果と作者の伝えたかったことを考える。
- 第3時：「心に迫る描写」の根拠を挙げながら、注目したい描写を話し合う。
- 第4時：自分の考えをもつ。
- 第5時：同じ描写を選んだ人と交流する。
- 第6時：考えを発表する。



第1時：初発の感想で、「心に迫る描写」とその理由を書く。（A①）

【読み解く力を高め、発揮している生徒の姿】

これまでの国語の力を活用して、文章から必要な情報を見つける

第2時：描写の効果と作者の伝えたかったことを考える。（A②）

【読み解く力を高め、発揮している生徒の姿】

第1時で発見・蓄積した情報を比較・分析し、結び付ける

第3時：「心に迫る描写」の根拠を挙げながら、
注目したい描写を話し合う。（B②）

【読み解く力を高め、発揮している生徒の姿】

自分と他者の考えを比較・分析し、自分の考えを
広げたり深めたりする

第4時：自分の考えをもつ。（A③）

【読み解く力を高め、発揮している生徒の姿】

第1時から第3時までの学習を踏まえて自分の考えを再構築する

第5時：同じ描写を選んだ人と交流する。（B③）

【読み解く力を高め、発揮している生徒の姿】

第4時での自分の考えを、他者とのやりとりを通して広げたり深めたりし、さらによりよく再構築する

- 1 単元目標
- 2 単元計画
- 3 **本時の目標**
- 4 本時の流れ
- 5 本時において、特に「読み解く力」を高め、
発揮している児童生徒の姿
- 6 授業づくりのポイント
- 7 まとめ



第5時/全6時間

描写の仕方や表現の効果などを根拠として「イチオシの描写」を自分の言葉でまとめることができる。



- 1 単元目標
- 2 単元計画
- 3 本時の目標
- 4 **本時の流れ**
- 5 本時において、特に「読み解く力」を高め、
発揮している児童生徒の姿
- 6 授業づくりのポイント
- 7 まとめ



- (1) 課題を見つけて、ねらいを知る。
- (2) 自分の考えをもつ。
 - ・自分のイチオシの描写を選び、紹介できるようにする。
- (3) 共に学び合う。
- (4) 交流を受け、自分の考えを再構築する。
- (5) 学習を振り返る。

- 1 単元目標
- 2 単元計画
- 3 本時の目標
- 4 本時の流れ
- 5 本時において、特に「読み解く力」を高め、
発揮している児童生徒の姿
- 6 授業づくりのポイント
- 7 まとめ





○他者とのやりとりを通して再構築する (B3)

「イチオシの描写を伝える」という目的を意識して、他者とのやりとりを踏まえ、自分に生かすことができる情報を見つけ、よりよい考えを形成することができる。

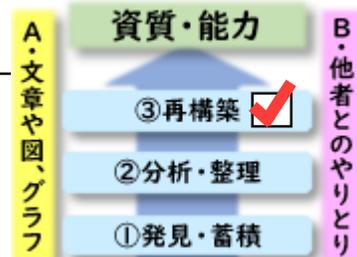


友達のこの部分の解釈も根拠に付け加えてまとめると、もっと詳しく伝えることができるな。

- 1 単元目標
- 2 単元計画
- 3 本時の目標
- 4 本時の流れ
- 5 本時において、特に「読み解く力」を高め、
発揮している児童生徒の姿
- 6 授業づくりのポイント
- 7 まとめ



○目指す再構築の姿（例1）



僕が選んだ「イチオシの心に迫る描写」は「母が、大きくなっていたんだね、とヒロユキのひざを曲げて棺に入れました。そのとき、母は初めて泣きました」というところです。

この話から、戦争という厳しい時代の中で、必死に子どもたちを守ろうとする母の姿が読み取れます。疎開先を探しにしんせきの人を訪ねたときに冷たい態度をとられて悲しい思いをしても、母は強い顔をしていたと書かれています。やっと決まった疎開先では、初めて田植えをしたり、自分の着物が無くなるまでお米やミルクと交換したり、子どものために生きる母の姿が描かれています。ヒロユキが死んだ時もそれまで我慢をしていた母ですが、棺に入れるときに、ヒロユキが厳しい中でも成長したことに気が付いて、初めて涙を流しました。ここに、母の強い悲しみがこめられていると思いました。だから僕はこの描写を選びました。



○目指す再構築の姿（例2）



私は「僕はひもじかったことと弟の死は一生忘れません。」という表現が一番心に迫りました。なぜなら、この一文に作者が伝えたいことが詰まっていると考えたからです。

当時、僕は弟がかわいくてしかたがないのに、悪いこととわかっていながら、ヒロユキのミルクを盗み飲みしたと書かれています。それほどひもじい思いをしていたことがわかります。またヒロユキのような幼い命を奪ってしまう戦争の悲惨さも感じ取ることができます。「ブーンブーンというB29の独特のエンジンの音がして、青空にきらっきらっと機体が美しく輝いています。」という描写はとても悲しく、むなしい気持ちになります。

作者はこのような悲惨な戦争は二度と起こしてはならないことを私に伝えようとしています。そんな思いが込められている最後の一文が、一番心に迫りました。



○本時のめあて

「イチオシの心に迫る描写」の根拠を
説得力のあるものにしよう。

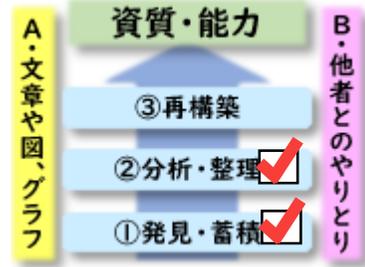


A large empty rectangular box, likely intended for student work or a teacher's notes related to the objective above.

○手立て

複数の根拠を結び付けて、より説得力のあるものにしましょう。

○やりとりをするメンバーを工夫する。



どのようなメンバーで、やりとりを行いますか？

○やりとりをするメンバーを工夫する。

同じ描写に注目した人をグループにする。

- ・選んだ根拠が異なる
→考えが広がったり、深まったりする。
- ・選んだ根拠が同じ
→自分の考えがより確かになったり、
深まったりする。

○やりとりの目的を理解し、必然性をもつ。

できた人は、その根拠でよいのか、
できていない人は、どの根拠を選ぶとよい
かを、グループでのやりとりを通して、
見つけましょう。

- 1 単元目標
- 2 単元計画
- 3 本時の目標
- 4 本時の流れ
- 5 本時において、特に「読み解く力」を高め、
発揮している児童生徒の姿
- 6 授業づくりのポイント
- 7 まとめ**



【本時で身に付けたい資質・能力】



表現の効果について、根拠を明確にして考えることができる

A
主に文章や図、グラフから読み解き理解する力

自分なりに解決し、知識を再構築する

解釈した内容を経験や知識と結び付けながら考えを深めたり、創造したりする

③
再構築

やりとりを通して、相手の考えや意図を踏まえながら、自分考えを確かなものにしたたり、創造したりする

母の涙の意味について、この二つを根拠にしてまとめると説得力がますと思う。

情報を比較し、関連付けて整理する

様々な情報を比較し、目的に応じて分析したり、整理したりする

②
分析・整理

相手の思いや意図を自分考えや経験と比較しながら整理する

私は、悲しい涙だと思ったけど、母の涙の捉え方が違うんだな。

必要な情報を確かに取り出す

文章や資料等から、目的に応じて情報を取り出す

①
発見・蓄積

相手の言葉、しぐさ、表情のもとに相手の思いを感じ取る

友達は、母の涙を「ヒロユキが成長していたことに対するうれしい涙」だと言っている。

目的意識

しが「読み解く力」～実践編～ 【中学校 国語科】

- 1 単元目標
- 2 単元計画
- 3 本時の目標
- 4 本時の流れ
- 5 本時において、特に「読み解く力」を高め、
発揮している児童生徒の姿
- 6 授業づくりのポイント
- 7 まとめ





滋賀県
教育委員会